

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	奈良教育大学				
取 組 名 称	教員養成大学による地域食育推進プログラム				
取組学部等	教育学部				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A22040	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	地域活性化	その他			
キーワード	食育オフィス, 食育・健康教育プログラム, 食育リーダー, 実践的指導力, 食生活相談室				

<選定理由>

本取組は、食育という今日的な重要課題について、教員養成課程のカリキュラムのなかに食育・健康教育を取り込もうとしているプログラムとして高く評価できる。特に、教員養成系の大学として食育の意義がよく理解された取組であり、それぞれの方針が一貫していて、プログラムそのものがよく整えられている。家庭科教員養成のシステム開発、教材開発、教員資質能力の基準案の策定なども、幅広く組み込まれ展開されようとしている。まさに「学びの力」を「教える力」に転換していくためのシステムである。

ただし、食育・健康プログラムと食育オフィスの体制との連携がまだ不十分で、一層の有機的な関係作りが期待される。取組実施に当たっては、このことに対応しつつ、着実に成果を上げることを期待したい。

取組の概要【1ページ以内】

本取組では、食育を、地域貢献と教員養成の両面から支援することを目指す。

地域貢献においては、情報の発信母体となる「食育オフィス(仮称)」を開設する。奈良県においては食育推進計画が策定され、食育の推進に向けた取組がされている。学校教職員のみならず保護者を含めた家族全員を対象に、食育推進にあたる。スタッフには本学教員の他に、学校現場において積極的に食育を実践している教職員があたる。オフィスは教材・学習法の開発とその配布、教具(本学教員開発による子ども用包丁他)及び市販教材の貸し出し、公開講座やシンポジウムの開催、個別相談等を通して、学校及び家庭における食育を支援する。

また、教員養成においては、食育推進の中心的存在となる教員(「食育リーダー」)を養成するための食育・健康教育プログラムの開発を行う。食育の必要性や考え方を体系的に教育し、実践的指導力を育成するとともに自己の食生活管理能力を高めるための支援を行なう。本教育プログラムは、教養科目群、専門科目群、実践科目群の3群構成とする。児童・生徒の生活指導にあたる教員は、一般の職業人より高い生活管理能力が要求される。生活に関する教養科目を教員養成における教養教育に位置づける本取組は、これからの教員養成における教養教育の先導モデルとなる。専門科目群においては、栄養、食品、調理、小児保健、栽培、給食指導(新設)他の12科目を指定科目とする。実践科目群においては、「教職実践演習」のモデルとして本学で実施している「教職実践」の履修と児童に調理指導するフレンドシップ事業「味覚をいかしたクッキング」の参加を課す。さらに、授業以外の取組として「食生活相談室」を新設し、栄養士資格を持つ教員が相談員にあたるとともに受講学生にケーススタディとして学ばせる他、新入生を対象にした料理教室の実施、生協食堂における地産地消、郷土料理フェアなどのイベント等を多数開催し食育推進に努める。

